

アールシーソリューションと工学院大学が共同開発した 「びるゆれコール」をアプリストアに公開

～長周期地震動による高層建築物のゆれを推定し、迅速な初動対応を支援～

アールシーソリューション株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：栗山章）と工学院大学（所在地：東京都新宿区、学長：今村 保忠）は、長周期地震動による高層建築物内の揺れと被害状況を即時に推定し、建物利用者や管理者の迅速な対応を支援するアプリ「びるゆれコール」を共同で開発しました。本アプリの開発には、工学院大学建築学部まちづくり学科の久田嘉章教授および村上正浩教授が携わっており、地震工学、構造工学、大都市の防災・減災に関する専門的知見が活かされています。本アプリは、2025年6月2日、アプリストアに公開されました。

■社会課題である長周期地震動

長周期地震動は、大地震時に発生する周期が長くゆっくりとした大きな揺れのことです。高層ビル等が影響を受け、室内で家具が転倒したり、エレベータが故障する等、人命にかかわる重大な被害をもたらすおそれがあります。近年の高層ビルの増加により長周期地震動の影響を受ける人口が増加していることや、長周期地震動階級を予測する技術の進展等もあり、気象庁は2023年2月から緊急地震速報の発表基準に「長周期地震動階級」を追加する運用を行っています。

■びるゆれコールとは

「びるゆれコール」は、地震発生後に気象庁が提供する震源情報（地震の規模・深さ等）をもとに、設定された建物のゆれを推定し、建物利用者に通知するスマートフォンアプリです。建物全体のゆれの程度だけでなく、利用者がいるフロアのゆれや室内の被害推定についても情報を提供します。

特に震源が数十km以上離れた遠方の大地震においては、ビルが大きく揺れる数十秒前に情報を受信することが可能で、迅速な初動対応を行ううえで大きな効果が期待されます。提供される情報はあくまで推定であり、計算結果が実際とは異なる場合や、遅れて提供されることをご理解いただいたうえでご利用ください。



びるゆれコール アプリ画面



びるゆれコール

アプリのダウンロードはこちらから↓



国立研究開発法人防災科学技術研究所、工学院大学、アールシーソリューション株式会社の三者による長周期地震動の観測・予測情報の利活用に関する研究では、長周期地震動の予測情報の利活用について検討が進められています。このアプリは当該検討を生かして、さらなる社会実装をめざす実験段階のアプリです。

リリースにより一般の方にお使いいただくことで得られる知見やフィードバックを反映させて、さらに精度を高めていく予定です。

本アプリの開発にあたり、リアルタイム地震情報システムフォーラム様、およびサイエンスソリューションズ株式会社様よりご寄付をいただきました。関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

■ 基本情報



アールシーソリューション株式会社

2002年8月設立。2010年11月、緊急地震速報通知アプリ『ゆれくるコール』リリース。2014年10月、訪日外国人旅行者向けの災害時情報提供アプリ『Safety tips』をリリース。2018年から多言語災害情報配信サービス『防災クラウド』の運用を開始。ITを活用して社会の安心に貢献するシステム開発に取り組んでいる。



工学院大学

1887年に創立された「工手学校」を前身とし、130年以上の歴史を持つ工科系大学。先駆的な工学教育を続け、日本の発展を支える数多くのスペシャリストを輩出してきた。建学の理念「工の精神」のもと、工科系分野 4学部15学科168研究室におよぶ教育と研究を通じ、次世代を担うモノづくり人材「21世紀工手」を育む。

アールシーソリューション株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14番21号 双英ビル3階
TEL : 03-5386-6571 FAX : 03-5386-6572
URL : <https://www.rcsc.co.jp> MAIL : customer-service1@rcsc.co.jp

学校法人工学院大学 経営企画部広報課
〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2
TEL : 03-3340-1498
URL : <https://www.kogakuin.ac.jp/> MAIL : gakuen_koho@sc.kogakuin.ac.jp